

をめぐり  
神子達

牛尾 吉朗さん  
＜牛尾工業社長＞

この人は見るたびに顔が違ふ。「カメレオンみたいやろう」と言う。忙がしい人だからだろう。氏の友人は「よう描き過ぎや」というけど、そのときはこう見えたんだから仕方がない。ホント。



砂野

仁さん ▲神戸商工会議所会頭▼

いきなり「君、オレは何ずに見えるかね……」と言われて一瞬戸  
りが大笑い「六十代の後半と七十五才だ」と言われて「オドロイ、た  
と朝ことの『新読読め』は飲むこともよく頼もしい先輩ではないか、  
一首をものしてくれた。話せる人だなア。」



今村

綾子さん

綾子さん へながはまフラワーリング マネージャー  
長濱律子さんの名コンビで、フラワーデザインのアIDEア。マン、長濱さんのマネージャーである。この人もエネルギッシュな奥さん。街を歩く犬を見ても、あのシツポで花が出来ないかなア。と思うんだそうだ。犬がシツポを巻く人。



長濱

律子さん  
△アートフラワーデザイナー▽

エネルギーのあり余った奥さんだ。と言っても、誤解してはいけない。なんせ獣の皮で花を造る。徹夜徹夜で作品を間に合わせるエネルギーのことである。





貝原 六一さん <画家・行動美術>

神戸行動美術の“親分”。神戸まつりの推進者。私は小さなマンガを描くが、彼は社会に大きな“絵”を描く能力がある。描いたら西郷隆盛に似て来た。



畑 マス子さん <工芸家>

畑専一郎さんの妹さんである。何時の間に知り合いになっていたという間柄。大分前だが、ワイワイ多勢で、自宅へ押しかけ、ご馳走になったことがある。まだお返ししていない。

さむらい  
士のママ



可愛い感じをなんとか物にしようと一生懸命になったんだが、どうかな……。その上、このママはグラマーである。いや……。見たわけではない。カンジ、カンジですよ。

諸岡

博熊さん

〈神戸市土木局参事〉

お役人らしくないところが彼らしい。人呼んで「超能力者」という。文化開発の進め、の著者「未来派である。少し才能を分けて欲しいですな」。



# をめぐる 神戸っ子達

三宅 啓子さん

<サントノール・ファッションデザイナー>

この絵を描いたとき顔をジッと見させてもらい、その後、「神戸ファッションパザール」のコンテストで声をジッと聞せてもらった。描き屋はトクデスなア。



岡田 淳さん <マンガ家>

仲間の顔は描き難い。私が描くと誰れでも優しい顔になるそうだが、岡田君の顔は優しくなり過ぎたかな……。

丘

あつしさん

△マンガ家△



「鼻は丸くて大きい」「目は小さい」「可愛い顔だなア」「童顔でしょう」「サン、こんなところかな……」描き屋と描き屋。

西村

隆さん

△県民センター△

長男の結婚式のとき、追加をしたら金が足りなくなっ  
て、ツケをして帰らしてもらった仲。「鼻の下を長くし  
たら似るんじゃないか」と言う「私と同じですなア……」





赤根 和生さん <美術評論家>

私も二日酔い。彼も二日酔い。モデルと描き手がアーシンド。こちらはそれでも、あとでの評が気になるので“懸命”だが、モタモタモタモタ彼も寝れてトロリトロリ「も一度描き直すことにしましょ」。



山下 駿児さん

<テレフォンサービス社長>

ファイトの固りである。若さがある。真面目である。アイデア・マンである。「先生、ほめ過ぎです。素快に見えますが、これでものすこうテレ屋なんです」と顔を赤くする。テレルテレフォンサービスの社長さん。



滝 えり子さん △アルバトロスV

スゴク女っぽい歌をうたう。私も歌が好きなんだが、この人の前で歌ったことがない。プロボーションのいい人だ。先生、どこを見てるんですか。と言われそうになっって目を移した。



西村真一郎さん △朝日放送プロデューサーV

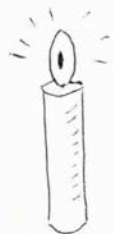
飲み仲間、騒ぎ仲間。いい顔をしているのに気が付いていないような男である。「結婚したんやっとなア」「ハハ」いつものニコニコ顔だが、落ち付いた感じがする。昼間のせいかな……結婚したからかな……。





世界最高の品質を  
誇るアラガワの支店

赤いチェックのテーブルが  
ピッツアの香りを  
ひきたてます



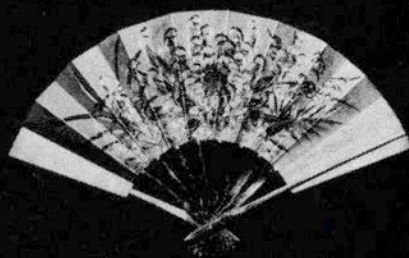
レストラン

**砂時計**

正午 ~ 夜1時  
日曜は夜9時まで  
月曜定休

生田区山本通1丁目35  
東洋ハイツ1階

TEL 241-1857



真心を伝える

あけまして  
おめでとうございます

記念品・贈答品

**平山商会**

神戸駅前 TEL(078)351-1551(代)

# ★神戸の催し物1月ご案内

## ＜音楽＞

★アップル・シュリー・フォークコンサート

11日(土) 3時 神戸文化小ホール 二五〇円

★谷山明彦カルテット

11日(土) 5時 芦屋ルナホール 三〇〇円

★甲南大学フォークソング同好会フェアウェルコンサート

15日(水) 3時 神戸文化小ホール 三〇〇円

★フォーリーブス

15日(水) ①12時 ②3時 神戸国際会館A・二七〇〇円 B・二二〇〇円

★辻久子バイオリンリサイタル

17日(金) 7時 神戸文化小ホール 民音・一〇〇〇円

★パロック音楽の夕べ

17日(金) 6時半 芦屋ルナホール 大人・五〇〇円 中高生・三〇〇円

★関西学院グリークラブリサイタル

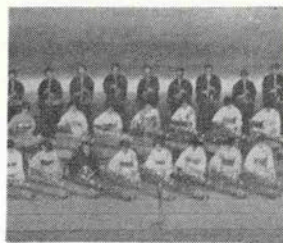
18日(土) 6時半 神戸国際会館A・五〇〇円 B・三〇〇円

★兵庫女子短期大学コーラス

19日(日) 神戸国際会館

★新春・筆の調べ

20日(月) 6時半 神戸国際会館 民音・一〇〇〇円



琴と尺八の音色・筆の調べ

★美しい日本のうた  
21日(火) 6時半 神戸国際会館

民音・一五〇〇円

出演/デューク・エイセス、加茂さくら、砂原美智子、ブルルコメツツ

★モスクワ放送交響楽団

22日(水) 7時 神戸文化大ホール S・四八〇〇円 A・四三〇〇円 B・三八〇〇円 C・三〇〇〇円 D・二五〇〇円

★桑原康雄マンドリンリサイタル

22日(水) 7時 神戸文化小ホール A・七〇〇円 B・五〇〇円

★パロック音楽への招待

23日(木) 6時45分 神戸文化小ホール 神戸音楽友の会 会員・一〇〇〇円 一般・一四〇〇円

演奏/大阪テレマンアンサンブル

お話しと指揮/延原武春

第一部ビバルディ篇 第二部パツハ篇

★ジョン・バリグラントオーケストラ

24日(金) 6時半 神戸文化大ホール 民音・会員・二二〇〇円 一般・二八〇〇円

★第23回市民コンサート

「邦楽の夕べ」  
25日(土) 6時 神戸文化小ホール 無料

★五木ひろし

26日(日) ①11時50分 ②2時45分 神戸文化大ホール S・四五〇〇円 A・二九〇〇円 B・二〇〇〇円

★新春特別公演「神戸・元町・さんのみや」

「あめの中のおたん」  
2日(水) ①11時 ②4時 神戸国際会館 S・二〇〇〇円 A・一五〇〇円 自由席前売・七〇〇円 当日・一〇〇〇円

出演/ミヤコ蝶々、財津一郎、白木みくる、平凡太郎、佐山俊二、奈良富士子ほか



ミヤコ蝶々

★人形劇団クラルテ・こども劇場

「真冬に春がやって来た」  
8日(水) 2時 神戸文化小ホール 前売・八〇〇円 当日・一〇〇〇円

★児童劇「オズの魔法つかい」

19日(日) ①10時半 ②1時半 神戸文化大ホール S・八〇〇円 A・六〇〇円 B・五〇〇円

★東京演劇アンサンブル

「オットーと呼ばれる日本人」  
28日(火) ①2月1日(土) 6時15分 ②2月2日(日) 1時半 神戸文化小ホール 労演・三〇〇円 作/木下順二 出演/入江洋佑、塚本信夫、宮本満里子ほか

★その他

★初笑い吉本大爆笑  
5日(日) ①11時 ②2時 神戸文化大ホール S・二〇〇〇円 A・一〇〇〇円 B・八〇〇円

★ストックホルム・マリオンネット劇場「星の王子様」

7日(火) ①1時半 ②4時半 神戸文化小ホール 一八〇〇円

★神戸五流能

18日(土) 1時 神戸文化大ホール S・三五〇〇円 A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円 C・一〇〇〇円



高砂

★神戸っ子読者5名様

日本能楽界の粋をあつめて、幽玄の舞台を展開する神戸五流能にご招待！(神戸文化ホール提供)

ご希望の方は、葉書に住所・氏名・年令・職業・TELをお書きの上、〒650 生田区東町一三の一 大神ビル8F 月刊神戸っ子編集室まで、先着順。



楊貴妃

★関西TV公録「ザ・タカラヅカ」

22日(水) 6時半 芦屋ルナホール 整理券

★百笑寄席 正月えびす公演

9日(木) 6時 ①つばす公演 ②10時 ③12時 ④3時 ⑤5時 ⑥7時 ⑦9時 ⑧11時 ⑨13時 ⑩15時 ⑪17時 ⑫19時 ⑬21時 ⑭23時 ⑮25時 ⑯27時 ⑰29時 ⑱31時 ⑲33時 ⑳35時 ㉑37時 ㉒39時 ㉓41時 ㉔43時 ㉕45時 ㉖47時 ㉗49時 ㉘51時 ㉙53時 ㉚55時 ㉛57時 ㉜59時 ㉝61時 ㉞63時 ㉟65時 ㊱67時 ㊲69時 ㊳71時 ㊴73時 ㊵75時 ㊶77時 ㊷79時 ㊸81時 ㊹83時 ㊺85時 ㊻87時 ㊼89時 ㊽91時 ㊾93時 ㊿95時

★春蝶・枝鶴二人会

27日(月) 6時45分 神戸文化小ホール 神戸音楽友の会 会員・一〇〇〇円 一般・一二〇〇円

★東西落語四人会

28日(火) ①2時 ②6時 神戸文化大ホール 指定・九〇〇円 自由・七〇〇円 (前売五〇〇円) 出演/桂小文枝、桂三枝、桂米丸 三遊亭円楽

# 心はのこる OLEKOOBE

## 勸商場物語

### 4 あおば しげる

#### ★デパートの草分け的存在

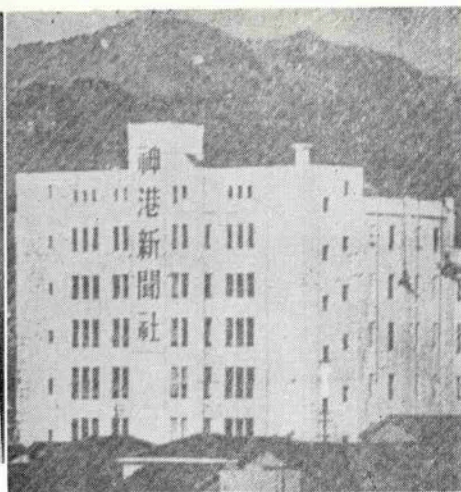
勸商場とは今日では耳慣れぬことばだが、「広辞林」や「言海」などの辞書には「勸商場は勸工場ともいい、多くの商店がそれぞれ日用品などを出品して一箇所で販売する建物のことである」といった意味のことを書いている。さて、この勸商場が登場した年代を拾うと、諸説あるが、最も早い説では明治初期からあったらしい。神戸の湊川神社の記録には明治六年頃からあったとされているし、ずっと下がって昭和十三年の記録には「境内に共同で各種の商品を売る販売小屋（勸商場）の建設を願ひ出たものがあり、これを許可した」とあり、ぜんざいやカマボコ、洋酒、各種飲物、石鹼、はきものその他各種の日常品が販売された。その後この勸商場に隣接して水新（みずしん）という兵庫の有名な西洋料理屋が開店していたものである。

神社に関係深い勸商場は東地区の三宮神社境内にも現われた。ハッキリした時期はわからないが、明治三、四十年代であったことは事実らしい。昔の三宮神社の境内は現在よりもなく、北側の今の広い通りを包含して浅井氷店のあたりまで占有していた。この境内の西側に隣接して丹下良太郎市会議長の私有地があったが、同氏はここに三階建ての勸商場を建て社長に就任した。これができたのは明治四十一年で現在のパウリスタのすぐ東側にあったが、昭和二十年三月のアメリカ空軍の大空襲で焼失した——と荒尾親成氏は語っている。もっとも昭和二十年まであったといっても、勸商場としての役割は昭和初期にはすでに終わっていたわけで、大東亜戦争が始まってからは町内会の事務所等に利用されていた。また、

同氏談によると、この建て物は、外装はセメント、モルタル作りで内部は木造建築だったが、階段がなくスロープ通路で、二、三階へ上がれるようになっていたため、こどもらは走って上がっていた。だが、室内の床がお粗末な木造だったため、荒々しく歩くと反響が下階にひびくのでそつと歩くように注意されていた。ここは各商店の寄り合い所帯で、呉服屋はじめ金物屋、荒物屋、ソロバン屋、おもちゃ屋等が店を開いていたが、明治四十四年脇浜小学校二年生だった荒尾氏は、同年二月大阪の城東練兵場で行われたアメリカの飛行家マースの初飛行に刺激されて、この勸商場へ竹とんぼをよく買いにいった思い出があると語っている。なお、食べ物店は少なかったが、夏には物干台をひろげたような屋上で納涼ビアホールが開かれたものだ。

この頃前後して同乗内には活動写真館（世界館Ⅱ三宮キネマに改名、三宮クラブ、万国館）や芝居の歌舞伎座、雑居亭などの寄所（よせ）が作られていて庶民の娯楽場として賑わっていた。飲食店もあちこちにあって、すし屋やコーヒ店、西洋料理屋などには多くの客が出入りしていたが、なかでも喫茶店兼食堂のはしりともいえるカフェー「ガス」が有名で、コーヒは五銭で砂糖入れ放題、当時はまだ珍しかった洋食が二十五銭だった。店内には蓄音機が各種の新しい音楽を流していてモダンなふんいきにあふれていたため、その頃の文化人たちが彼らのたまり場になっていた。今東光や村山知義、竹中郁、幾人もの洋画家たちがよく訪れた。元町通の計量器店のむすこの今井朝治という洋画家もその一人だったが、すこぶる美男子の彼は奇行でも有名だった。彼はトルコ





新聞地に残る元勸商場、一時神港新聞社が使用（「兵庫・風雪20年」より）



活動写真の「万国館」のパンフレット（昭和4年）  
提供・荒尾親成氏

帽をかぶり、赤マントを着て元町や三宮を歩き回って人々をアツといわせたものだ。ところで、新聞地にも三宮と同じ頃にすでに勸商場が店開きをしていた。新聞地にはじめて作られた相生座（劇場）が火事で焼けて再建されたのが明治四十年十二月、翌年そのすぐ向かいにできたのがそれである。こも三宮の勸商場とよく似た二階建てで、二階には雑貨品などが並び、食堂があった。だが、ここの呼び物は二階よりも階下に同時にオープンした二つの活動写真館である。山側に電気館、浜側に日本館、いずれも常設館で、たちまち新ものの好きの神戸市民の人気を集めた。だが大正九年頃これが増築改造されて五階建てのビルとなると、名も博品館（藤田松之助経営）と改められてはじめて今日のデパートらしい商売を開始した。

もつともデパートとしてはそれ以前から大丸百貨店（ただし、元町通四丁目にあり、昭和二年に三宮の現在地へ移転）があり、つづいて三越、そごうもできたので、これを神戸の「デパート第一号」とは呼べなかった。だがこんどは一、二階を主として各種の商店が入りこんで店開きしたので、本筋のデパートに負けないといえたとなつた。だから大正十五年にさらに神戸デパートと改称されたのも当然の成り行きだった。

この頃兵庫区西出町に住んでいて毎日淡川公園西側の市立第一高女へ通学の途次この前を往来していた高山ますえ夫人（現在須磨区月見山北町で茶商「豊楽園」経営）は「神戸デパートにはハキモノ、衣料品、おもちゃ、その他日常雑貨がたくさん並べられていました。一度一階のハキモノ屋の店頭でダンス靴をみつけて乙女心に欲しくなり、買ってほしいとねだって母親から叱られたのをおぼえています」と語っている。また、同年、この屋上から聚楽館東に今も建て物の残る白木屋（後年喜久屋食堂）屋上に向けてラジオ放送の初テストが行われて市民の注目を集めた。デパートや勸商場式のものは大正末期頃他にもあったが、三越のすぐ東側にも一時元町デパート（井上油店経営）というのが作られたし、多聞通りの菅園の西隣りにも勸商場風の店があり、雑貨を並べクーパー券を発行したりしていた。要するにこれらの勸商場は、今日の百貨店（デパート）の草分け的存在だったわけで、神戸だけではなく、東京（銀座）や大阪などの大都会などにはいち早く出現していたものである。

今日新聞地の神戸デパート跡のビル（戦後神港新聞社がしばらく営業）には昔の面影はないが、代わって同じ名前が、神戸市の応援（融資）もあって、客からかなりの人気を得ていることは、長い年月の間に市民みずからの手による庶民デパートが欲しい——という、かねての市民の念願を果たしたものととして、興味深い気がする。



Air Mail from New York &lt;17&gt;

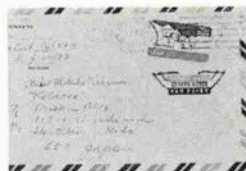
## 住まいは頭痛の種

竹田 洋太郎 (在ニューヨーク)

え・たかはし もう



筆者



これはある日本の海運会社の支店勤務のその奥様に聞いた話。

本社の人事課長が、従業員の生活状態、厚生施設等をお役目から視察にニューヨークにやってきた。ということもあろうけれど、人事課長さんは最近海外旅行の機会もない。いちど気分転換の意味もあって、世界一周してこないか、ということではないかと思えます。そこで平均的駐在員として私のご近所の家庭を視察することになったのでしよう。

ご主人の年齢は三十五歳、奥様に子供二人。まあ典型的な家庭ですね。その住まいは私の近所で、ニュージャージー州のハドソン川沿いの高層アパート。大体二十五、六階で、居間からハドソン川とマンハッタンが一望のものと見わたせるところ。アパートではあるが、このごろのニューヨークの家主は早いところ建設資金の回収をやらないと金利が高いというわけで、入居者のうちから、コンドミニアムへの契約変更を迫ってくる。この制度は、つまり分譲アパート型式で、頭金は十一万ドルくらい、あと分割払い。ただし、日本より有利なのは、分割払いに分にかかる銀行の利子が、所得税申告のとき、所得から差し引かれることです。このアパートで大体五、六万ドルと見ていいでしょう。

日本円にして二千万円以内。これに相当高い利子がつきますが、そのアパートは、大体こちらでいう2ベッドルーム。つまり（これからは日本式の略語を使います。

Lはリビング、Kはキッチンというふう) Lの広さは普通日本の十二畳から二十畳、それにKとB（便所兼バスルーム）、ここへ二寝室ついているわけです。一寝室の広さはほぼ十畳から八畳。こんな二寝室型が子供二人の家族もちの平均的なアパートと考えて下さい。

それを家賃でいくと、月三百五十ドルから五百ドル。これがハドソン川沿いのニュージャージーの値段。同じもので、マンハッタン五番街にいま建築中のアパート（持主は例のオナッシスとか聞きました）になると値段が十三万ドル。こんなアパートにはいるのは世界の金持ちか世界の大企業、と目標を定めて、日本語のダイレクトメールも日本の商社に送っています。

さて、もとの船会社の話に戻って、その人事課長さんペランダから、エンパイア・ステートや世界貿易センターの見えるアパートにやってきて、いきなり怒り始めたそうです。

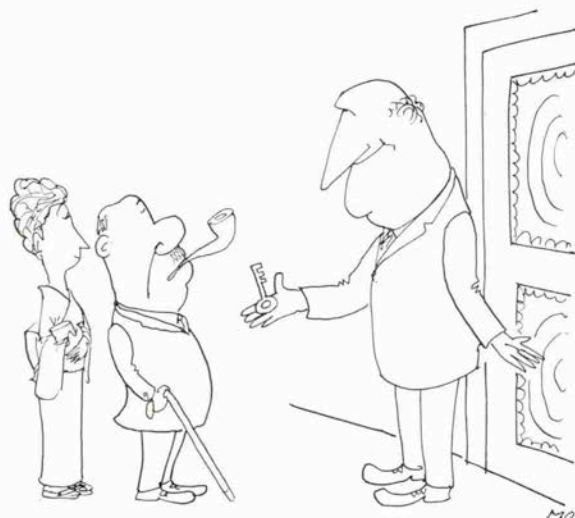
「これはゼイタクだ。キミ、アラビアのアブダビににいるわが社の連中はアメリカのカマボコ兵舎に冷房もなしに寝起きしてがんばっているぞ」

それは事実でしょう。ところでこれに反論したのは、その船会社の社員。

「課長、ニューヨークではいくらでも安いところはあります。スチュディオ（ベッドルームなしのLD寝室兼用でBKのついた）で百五十ドルの部屋に、三人同居。一人当たり一月五十ドルで住めといわれれば住みま

す。だが、こういう住まいでは、だれも自分や家族のイノチの保証はしてくれません。日本人の女性がウェストエンドで殺された話を課長も新聞でお読みになったでしょう。それから、取引先の米人とは、日本みたいに、どこかのバーで接待というわけにいかない。家庭に招くとその住まいで人間の格や会社の格を判断するんですよ。わが社は日本の海運会社のトップ3にはいつてるじゃありませんか」

以上のような説明であつたと私は聞きました。この中にはウソもあるし、ホントもある。また、いい足りない点もあります。まず、どんなところに住んでいるかを、米人はそれとなく聞きます。これで相手の会社における格付けや会社の経営状態まで判断の材料にします。次に



日本人にはいちばんいい部屋へ案内するようになった。

「危険」というのは半分ホントです。マンハッタンの、安アパートはいくらでもあるが、独身男子はいいとして家族連れでは住めません。なにもビストルを突きつけられるからではなくて、夜はにぎやかな道路以外はだれも歩かないから無気味です。また学齢の子供があっても、学校のいいのがない。その点、学校は郊外でなければならぬし、いい先生と施設のととのった町は、固定資産税がとて高い。(この税率は市町村がきめる。)だから、家賃や不動産の値の高いところほど教育施設は備っているが、ニューヨークはその点赤字地方自治体だから税金が高くて小学校などはダメ。

こういった悩みはこちらでも山ほどあります。だからある日本の会社はコンドミニアムの一階を全部買い切ったり、郊外の一軒建ちを数軒買って社宅にしています。

だが、かの人事課長さんの腹立たしさもわかるのですね。一所懸命貯金して、会社から前借りして分譲住宅を手に入れたところで、アメリカへきてみれば、若い社員が日本人から見れば豪華ケンランなアパートに住んでいて、しかも会社持ちというのですから。一方、こちらの家主たちは、十年前は日本人など東洋人はお断りといったのに、いまは日本人は金払いがいいから、いちばんいい部屋へまず案内するようになったのだといいます。だいいち、日本人とみれば、いまや家賃をどんどん高くするそうです。それでもはいってくれるから。

さて、七年こちらで住んでこの間日本へ帰った同じアパートにいた奥さんから手紙がきました。六畳三室のアパートというので帰ってみたら六畳というのは、アメリカのキッチンかバスルームの広さだったので、子供がノイローゼになったとか。ともかく、日本と米国では「空間感覚」というか、これが全く別のもの。しかし、日本人ならそのうちに馴れるでしょうし、ともかく日本はセマイ国で、そのなかから経済も政治も文化も生まれたのだから、どちらがどうとはいえないけれど、土地のあり余っているアメリカは、ときどき恐しい国だと思えます。



淀川立見席

36

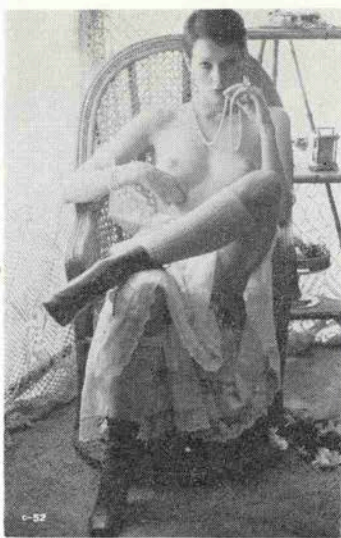
# 映画新春・こと始め 揃いも揃って花まん開

淀川 長治 〈映画評論家〉

正月ぐらいいは家でノンビリ、とおっしゃいますな。正月ぐらいいは御家族揃って映画見物、いえタダのテレビでなくてたまには映画館にも……どーぞ。

## ★エアポート<sup>75</sup>

ヒコキが空中激突。片や小型一人乗りジェット。これが心臓マヒの即死。これが正面からジャンボ・ジェット超満員ボーイングにドッカン。小型は空中惨禍。ボーイングは二階パイロット室の右に大穴。操縦士一名その穴から空中へ吸いとられ他の一名即死。残る機長一名は瀕死。かくてこの旅客機操縦士無しのメクラ飛行。さていかに相成りまするや、アナタとにかく操縦士無しのヒコキなんかに乗ってごらんあそばせ。主演チャールトン・ヘストン。カレン・ブラック、その他いろいろいっぱい。「エクソシスト」のジャリ娘リンダ・ブレヤ。さらに懐しやうれしや、往年のスタアのグロリア・スワ



▲お上品とおげれつ「エマニエル夫人」。

ンスン(きれいでずず)とマーナ・ロイの特別参加。監督はジャック・スマイト。どうしてそのヒコキ助かるの……そんなコトここで申せるものですか。ハイ、映画館でハラハラとごらんあそばせ。ドッキン!

## ★シネ・ブラボー!

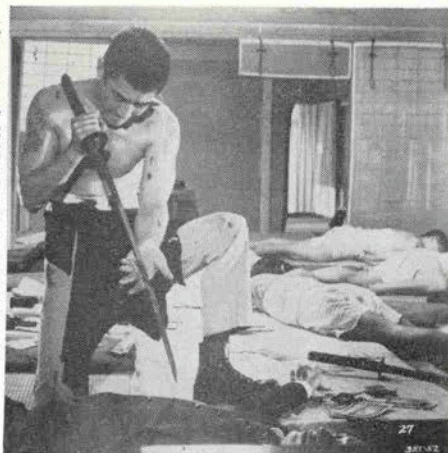
珍中の珍。活動写真の始まりの珍らしくもおかしくも貴重なフィルムを集めた一時間四十八分。途中で飽きるでしょう? とんでもゴザイマセン。もう時間のたつのも絶体にお忘れ。第一部は無茶苦茶に古い活動写真。第二部はドタバタ・コメディと連続活劇。パール・ボワイト、ルス・ローランド、ハアリー・ホーディーニ。ああ私は呼吸が止まるばかりのコーフン。とにかく活動写真が日本に初めて来たのが明治二十九年(一八九六)。それも神戸の神港倶楽部。そんなころのフィルム……それが第一部にイッパイ!

## ★007/黄金銃を持つ男

黄金といえは東洋。ダイヤモンドといえは西洋あるいはアフリカ。これが西洋人の常識。それで今度は東洋エグゾチズムを盛りこんでブルース・リー・スタイルのカラテ大活劇。あれよあれよとこのデタラメの面白さ。ロージャー・ムーアのボンドは胸毛がなくてちとモノ足りないが男のくせにオッパイを三つもつけたその秘術もありまして、共演のクリストファー・リーの怪奇役者とチヨーチョーハッシの劇画的大アクション。監督はガイ・



▶「ギリとヤクザが健さんともども輸出される」、東映勝負の「ザ・ヤクザ」。



ハミルトン。ポンド・ガールズは今回三名。

いずれもきわどく色っぽく。

### ★ザ・ヤクザ

ザがついたりするとカッコいいみたい。「追憶」「大なる勇者」「ひとりぼっちの青春」「インディアン狩り」シドニー・ポラック監督が高倉健とロバート・ミッチャムと岸恵子を使って日本のギリとヤクザの御紹介。東映勝負の、ラストの健サンのもろ肌脱いだタテがいい。けれどもこれを見ていると日本人はみんなイレズミして小指をチョン切るみたいで、西洋人はさぞや日本をコワイと思うであろう。ギリはつらい。ギリはこわい。ギリギリ・チャンバラ現代劇。

### ★エマニエル夫人

きれいなきれいな主役女優（シルビア・クリステル）が、きれいなきれいなL.P.のジャケット・カバーそのままたまのカメラ色彩の中で、サカリのついた猫みたいになるお上品とおげれつのセックス・コーフン映画。これに氣どつて紫のケシの花と呼ぼう。フランス映画。ジュスト・ジュエキン監督。

### ★個人生活

政治家のアラン・ドロンなんて。ところがサマになつてゐるんだから。妻子を捨てて、若きトップ・モデル



▶「ドローンの政治家なんて……？」「個人生活」。

（シドニー・ローム）と狂恋悲恋。女の自殺。ドローンの涙。いい線いっています。カッコいい。そしてアホらしい。監督はビエール・グラニエ・ドフェール。

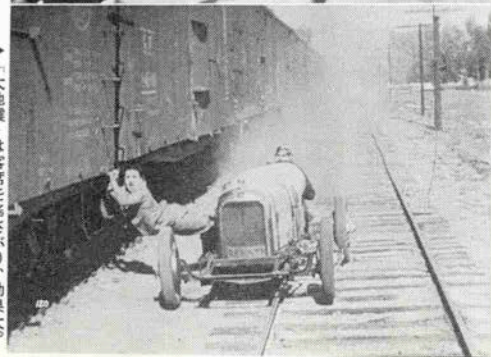
### ★大地震

とにかくセンサラウンド方式と称する音響効果がバツグンでグラグラドカドカジリジリドカーンの、そのゆれ方と音響で見ていて中腰になるという（ハイ私まだ見ていません）。とにかくロサンゼルス市が目茶目茶になって、そのための大洪水。チャールトン・ヘストン、エヴァ・ガードナー、ジョージ・ケネディその他いっぱい。監督は才人マーク・ロブスン。そしてヘストンの役は第一級建築家。その彼、この大地震でもろくも大ビルディングの崩壊にさぞやジシンをなくしたのであります。

### ★新おしやれ泥棒

これはまたキャンデス・バーゲンとチャールズ・グロディンが世界中のダイヤモンドの原石を集めたロンドンの大金庫を狙う超豪華泥棒奇談。というとまたかとおっしゃるな。底抜け、いきなデタラメ映画で007のデタラメお遊びとちがつて、そのダイヤモンド・コレクターの豪華お上品振りが見もの。監督はアラム・アパキン。

正月映画まだまだありますがもはや紙数なしアア！



▶「大地震」は客席を揺さぶり、効果大。

# 女体百景

《30》

H・ジュニア

え・浅野俊一

## プロ フェツシヨ寝ル

H・ジュニア氏は、今度のヨーロッパ女体探訪の旅に出る前に、旧知のダニエルに「これぞバリジエンス」という、世界一のプロフェツシヨネル（フランス語で娼婦のことをこう呼ぶ）を依頼しておいたのである。

案の定、H・ジュニア氏がバリのホテルに着くと、早速、ダニエルから「夕食後、女の写真を持っていくので選んでほしい」と電話がかかってきた。モデル、人妻、女優、高級ブティックの店員、等々の素晴らしいバリジエンスの中から、好みの女を選んでいる自分を、H・ジュニア氏は想像しながら気もそぞろ、チキンのクリーム煮で腹ごしらえしてロビーに出ると、

「あら！ H先生じゃありません？」

と、若い日本女性に声をかけられた。昔教えた大学の卒業生のY嬢なのだ。えらいところで会ったものだ。

「先生と一緒に来たかったわ。今晚、卒業させてもらったお礼させてちょうだい！」

と甘えられ、さつそく、ラ・トゥールジャルダンの鴨料理の招待を受けることになってしまった。

鏡張りの天井に、セーヌの遊覧船の灯が映え、その光が緑の大理石の床に反射する三階の特別室で鴨に舌鼓を打ち、ブランドイのほろ酔い機嫌に、「もう死んでもいい！」と、Y嬢と手を握り合った途端、ダニエルから電話で、

「例の女が、今夜、十一時、部屋へ行く。女は適当にこちらで選んでおいた。ホテルで伝言を聞いて電話している。」

というのだ。時計を見れば、もう十時半だ。

H・ジュニア氏は、タクシーを呼んでもらってホテルに飛んで帰り、明日の晩の約束をしてY嬢とロビーでよく別れると、自室へ転がり込み、散らかったスーツケースを必死でまとめて鍵をかけ、全部ダブルベッドの下へほうり込み、盛装のまま、ベッドに仰向けに寝ころがって女を待つことにした。

〈局部だけでも洗っておきたいが、時間もないし、ビデもない。不思議だ。諦めるとしよう。もう約束の十一時だ。何かの手違いで明日になったのでは？ カーテンも閉めたし、バックミュージックのスイッチも入れてある。万事OKだ！〉

その時、「トント」とドアが鳴った。彼の心臓も鳴っている。彼は跳ね起き、ドアの所へ飛んで行って、ロックを右へ廻した。

〈日本と逆だ〉

ドアを半開きにした途端、

「ボンスワール、先生。私、寝られへん。お客さままだですの？」

と、Y嬢がジロジロ部屋の中を見廻している。

〈殺してやりたい！〉

「何か？」

「帰りはつたからお電話くださいます？ 部屋のテレフォンを番号をお知らせしときたかったの！」

と彼女は紙片を出した。



「すまんすまん。必ず電話します。」

「こんな時に女が来たら大変ではないか？ 早く帰れ」

「トントン」、三十分遅れて部屋の戸が鳴って、プロフエッシュヨ寝ルは、風のように秘かに、ドアのすき間をすり抜け無事、中へ入ったのである。

「ボンスワール！」

と、パリジェンヌの小声は鈴のようにコロコロと鳴る心地よいフランス語。Y嬢とは、えらい違いだ。彼女は、その薄く引縮まった唇に、終始、微笑を浮かべている。すいも甘いもなめ分けた、知性の香気さえする軽妙洒脱な大人の微笑だ。早く奪いたい」

ドアの所で、彼女が靴を脱ぐと、H・ジュニア氏より少し低くなった。丸いトビ色の瞳は、慈母のように慈愛に満ちて、彼をじっと見つめている。

「こんなに洗練された微笑や目つきは、小さい時から、ブドー酒を飲まされているからではなからうか？」

「年は、二十四くらいか？ 中肉、中背、抜群のプロボーションはさすがだ。ジーンズブルックがよく似合って、特に、ピッチリしたものと、お尻がたまらない。小さ

な頭に、羽毛のように軽やかな金髪は、思わずなぜたくなる。顔は、一見、猿のようだ。しかし、可愛い鼻は愛嬌がある。よく見ると、顔も、手足も、体のどの部分も華奢に、丹念に作られていて、骨董的な美しささえ感じさせる。狭くかつこい肩は、男なら誰だって抱きたくなるだろう。早く寝たいが、やせても枯れても、日本のインテリの端くれだ。あんまりガツガツしたところは見せたくない」

H・ジュニア氏は気づまりになり、立上って窓を開けた。手の届きそうなエッフェル塔の黒い影に向って、二人は肩を抱き合って立った。

「エッフェル塔の灯も消えたわ。あなたは十六、私は十一。もう遅いわ。早くお寝ねしましょう！」

「泣かせる言葉だ。さすがは、パリのプロフエッシュヨ寝ルだけのことはある」

「ウィウィ」と、彼が窓のカーテンを引く中に、彼女はビッターにももについたテッドラビドスのジーンズを、破れないようににずらせ始めていた。下からは、惜気なくブラウンの恥毛が、その見事に刈込まれたハート型を現わしたのである。マメの所が小高く、周囲は薄く刈込まれている。正に恥毛の芸術だ。今パリでは、ハート型が流行と聞く。

「何というけな気な、客へのサーヴィスであろう」

H・ジュニア氏は、いじらしくなって、彼女のそばへ飛んで行き、可愛く狭い肩を抱いて、立ったまま、その薄い魅力的な唇に最初のキスをした。

「パリのプロフエッシュヨ寝ルは、ただ寝るだけではないのだ。涙ぐましいサーヴィス策を練っている。正に、プロフエッシュヨ練である。あそこも、定めし煉れていることだろう。一体どんな秘芸を、彼女は錬っているのだろうか？ 後が楽しみだ。」

(以下、次号につづく)

☆女体百景12月号「ベニスの女」は「へ」に「ハート型」の半面点(？)「ベニスの女」の誤りでした。訂正します。

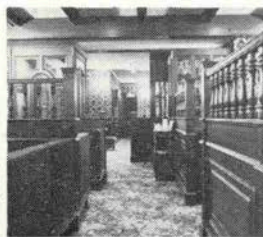


# ぴっと・いん



★〈タブロース〉モルト62度

の世界をあなたに  
トア・ロードに英国風パ  
ブ・バス・チャールリント  
ンがオープンしました。  
英国のインテリアにつつまれた、お手軽なお値段で楽しめる店です。



英国調のムードある店内

ティータムには、オリジナルブレンドによるコーヒ、トワイニング全種を揃えた紅茶、スコッチタイムには、スコットランドの樽入りモルト62度のヘタブロース。お食事ときには日変わりメニューのランチの他、北海道直送のスムークサーモンも店の自慢です。また、コーヒや水割には九州の山奥、阿蘇野の岩盤下より採取される自然水

ボンボンを使用。

ウエイトサービスのなので商談にも適している。  
コース400円、ランチ500円、ティータムAM10〜PM6 スコッチタイムPM6〜AM12  
電話〇七八三三二二二五

★安くて美味しい肉を食べるべくそれが私の信条  
中山手の炭焼きステーキ「樹」(たつき)は頑固者揃い。といっても、こと味に関してのこと。マスターもコックさんも、食べる人の身になって、安くて美味しい料理しかつくりません。というのだから誠に結構。



“頑固者”がズラリ!

炭焼きステーキ、鉄板焼き、それとドリンク。この三拍子をお手頃な予算で、存分に楽しめる。  
また、好みによって各種の料理を調理してくれる。

生田区山本通二丁目一三三

炭焼きステーキ/サローイン三千円

タンダー四万円、鉄板コーナー/貝

柱、タコ、若鶏、エビ、イカ、バー

ベキュー六百八十八円AM11〜PM

2、PM5〜PM11 日曜休み

★ピザパティイ

できるよ

ボンと空中にドウを投げあげてはつくるピザ。そんなことして出来る? とご不信の方は元町一番街中山ビル331/9378 (多美の二階)にオープンした「ピザ・パテオ元町店」へ行つてごらん。やってるやってる延べ棒使わず投げ上げ式な



ボンとなげてつくる

んだから。種類は50種類あって小さいピザ(400円)コーヒ(180円)ワインと共に食べるとしこしことなかなかいける味。暖ためながら大きなピザを囲んでパーティもできる。この店は、大阪ダイハツ販売(三宮清一社長)がタイアップして拡げてゆこうというもの。

★私の店ができました

以前「キャンティ北店」

のメンバーだった下田利暢

さんが、新しい店「ロイヤ

ル」をオープンしました。

場所は国鉄甲子

園口駅南三和銀

行裏です。

## ●神戸うまいもん とドリンクینگ

イタリア料理

ベルゲン

生田区山本通二丁目47

1 中山手カトリック教

会前241-6952

本格的なイタリア料理がおいしいと定評のある「ベルゲン」が山本通りにつつ越した。新しい店は白い壁が明るく、テーブル数も増え食事を楽し



オープンの日の昼餐会

める雰囲気のある店。ガラスの窓越しに調理室のコックさんの様子も見えらる。シーズンには表のテラスでも軽い食事をとれるようになってる。

「野鳥料理にも力を入

りたい」とマスターご夫

妻は大はりきり。

少人数のパーティなど

に使える別室もあり、オ

ープンの日にはこで、

牧師さんなど各国のお得

意客たちが昼餐会に招か

れ、開店を祝った。

11時半〜2時半、5時〜11時。

水曜休み。

あけましておめでとうございます

旧年中はいろいろとお世話になりました  
新しい年もよろしく願いたします

昭和50年 元旦

# 1/6 (月) 新春初笑い大会

—落語家と一緒に遊ぼう—



12月30日から1月5日までは休ませていただきます



フラメンコの店

## エル・ヴィノ

5:00PM~2:00AM(日曜祭日12:00AM) 水曜日定休  
第1・3土曜日はフラメンコ舞踊のショータイム  
神戸市生田区北野町3丁目48 アニルドマンション1階  
☎ 241-1344

あけましておめでとうございます  
今年も花のおふくろの味をよろしく願いたします



●こん立て●  
たかのみ弁当  
やよいの里  
花そうめん  
みむろそうめん  
天ぷら  
おつくり  
湯どうふ

和風季節料理

# 花

11:30A.M.~8:00P.M. 月曜日定休  
さんプラザ地階 ☎ 331-0087



# A HAPPY NEW YEAR

● 1975 ●

旧年中はお引き立てをいただき  
ありがとうございました。

レストラン “カルバドス” は、  
新しい年も、音楽のあるシャレた  
神戸っ子の店として、みなさまに  
親しまれるように、一層洗練され  
た店づくりを目指しております。

本年もよろしくお願い致します。

〈ピアノ&ボーカル〉

月・水・金・土曜日 山本憲一、羽岡利幸、火・日曜日 阪本完二

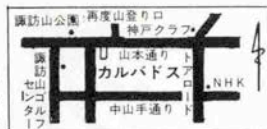
レギュラー 高橋真知子

〈メニュー〉

ヘレミニッツステーキ	¥ 2,000	ビーフシチュ	¥ 1,500
エビとパンのフライ	¥ 800	ミートボールシチュ	¥ 1,300
サラダ	¥ 500	タンシチュ	¥ 1,300
バレンタイン	¥ 500	バレンタインボトル	¥ 7,000

7:00P.M.~2:00A.M. 木曜日休み

Restaurant  
**Calvados**



神戸市生田区山本通 4 丁目 97

PHONE 231・6137~8